

課題・研究期間・評価	<p>百日咳様症状を呈する <i>Bordetella holmesii</i> の分離・検出法に関する検討</p> <p>研究期間：H23</p> <p>評価：5（非常に高く評価できる）</p>	意見1	<p>・ <i>Bordetella holmesii</i> は従来日和見病原体と看做されてきたが、本菌が分離された患者の特徴や感染経路なども再検討し、明確化してほしい。また、<i>B. holmesii</i> に対して百日咳菌の成分ワクチンの防御効果があるのかなども調査研究計画における検討すべき課題としていただきたい。</p>
		対応	<p>・ <i>Bordetella holmesii</i> が分離された患者の症状の特徴や感染経路等については、保健所の疫学調査と照合し、明確化していきたい。また、百日咳ワクチンによる防御効果については、不明瞭な部分が多いが、今後、国立感染症研究所と連携しながら検討していきたい。</p>
		意見2	<p>・ <i>B. holmesii</i> 感染症の県民の理解度は必ずしも十分ではないため、県民への啓発活動にも力を入れていただきたい。</p>
		対応	<p>・ <i>B. holmesii</i> は国内で分離報告が少ないため、今後、全国的なサーベイランスの結果も加味し、県民へ情報を提供していきたい。</p>